

## 意見の概要および市の考え方

No	意見の概要	意見数	市の考え方
第1章 プラン策定の基本的な考え方			
1 背景			
1	1行目「少子高齢」に訂正	1件	ご意見のとおり修正します。
2 経緯			
2	「しかし」から5行が長いので、3つ程度の文章に分ける。	1件	ご意見のとおり、次のように修正します。 「しかし、経済・社会情勢の変化やそれに伴う課題への対応、定住化傾向の外国人住民の増加や国籍の構成変化等の現状を踏まえ、より実情にあった「プラン」を策定し、市民、市民団体、企業や行政等各主体が取組を進めるとともに、さらに連携していく必要があります。そこで、2015年（平成27年）4月に学識経験者、外国人相談関係者、NPO団体代表者、教育関係者、公募委員等で構成された「彦根市多文化共生推進プラン策定委員会」を設置しました。」
第4章 施策の展開			
1 コミュニケーション支援（コトバとココロがつながる関係づくり）			
(1) 情報の多言語化			
3	8行目「相談体制を維持・向上」に訂正	1件	ご意見のとおり修正します。
(2) 日本語および日本社会についての学習機会の提供			
4	「彦根にほんご教師会」の会員が、「日本語指導者となる人材育成」の面で、連携させていただけると考える。	1件	市民団体と協働しながら、多文化共生のまちづくりを進めていきたいと考えております。市民団体と本プランとの関係については、「第5章 多文化共生施策の推進体制」の「(3) 市民団体」に内容としては含めております。
2 安心して生活するための環境づくり			
(1) 居住の環境づくり			
5	9行目「外国人住民の参画」に訂正	1件	ご意見のとおり修正します。
(3) 教育の環境づくり			

6	1 行目「外国にルーツを持つ児童・保護者の中には、文化的背景の違いや日本語が十分理解できない人がいます。そのことが、いじめの発生等の原因につながることもあります。」に訂正	1 件	次のとおり修正します。「外国にルーツを持つ児童・生徒および保護者の中には、文化的背景の違いや、日本語が十分理解できないこと等があり、そのことが、不就学や不登校、学習意欲の低下、いじめの発生等の原因につながることもあります。」
3 多文化共生の地域づくり			
7	地域での多文化共生を推進していくために、公民館を活用する方法もありませんか。	1 件	ご意見の内容については「3 多文化共生の地域づくり」の(1)から(3)までの各項目に含まれると考えております。具体的な施策としては、「行動計画」を策定する中で検討していきます。
第5章 多文化共生施策の推進体制			
1 それぞれの役割			
(2) 自治会等			
8	1 行目「最も身近で」に訂正	1 件	ご意見のとおり修正します。
1 それぞれの役割(全体にかかるもの)			
9	地域での多文化共生を推進していくために、公民館を活用する方法もありませんか。 以下に文言を考えた。 ・公民館の役割 公民館は身近な場所である。外国にも公民館機能が充実した国がある。公民館でも多言語表示版等の設置を行い、気軽に集え・交流できる空間になるよう努めます。また、情報収集・発信所の役割も果たせるよう努めます。	1 件	ご意見の内容については「3 多文化共生の地域づくり」の(1)から(3)までの各項目に含まれると考えております。具体的な施策としては、「行動計画」を策定する中で検討していきます。
(本プラン全体にかかるもの)			
10	「参加」を「参画」にした方がいいと思う箇所があるので、全体を検討してほしい。	1 件	「行動をともにする」という表現での記載をしておりますので、「No 5」以外の箇所は修正いたしません。
(その他)			
11	自分の国と日本とのマナーが違うことがあまり理解されていないと思う。仲間意識を高めながら理解できるようにする。	1 件	ご意見の内容については「3 多文化共生の地域づくり」の(1)から(3)までの各項目に含まれると考えてお

			ります。ご意見を参考にさせていただき、「行動計画」を策定していきます。
--	--	--	-------------------------------------